

令和2年1月7日(火)・16日(木)

介護相談員さんから…

天間荘では平成28年4月から介護相談員等派遣事業を受け入れています。市町村に登録された介護相談員が毎月2回来荘し、利用者の疑問や不満、不安を受けつけ、天間荘や行政に橋渡しをしてくれています。こうした介護相談員の活動報告(利用者の声や気づき)は、問題の改善や介護サービスの質の向上に活用されています



【食事・嗜好品】

- 今日の昼は七草粥が出るとのことで、それにまつわる懐かしい話をたくさん聞けました。
- 女性利用者の方が「大晦日にはかき揚げ付のお蕎麦でおいしかった。1月3日には海鮮丼が出たのよ。食堂の方達がおいしい料理を作ってくれてありがたい」と話されていました。

【施設・環境】

- 廊下の通路の壁に鳥の写真が名前入りで貼り出してありました。写真と照らしながら木に停まる鳥を見ると「今のはハシブトカラスだとか、ヒヨドリだ」などと楽しんでいるとのことでした。

【アクティビティ】

- 「年末に杵と臼を使って餅つきをしました」と利用者の方達から聞きました。皆さんで作られたお供え餅が各フロアに飾ってありました。
- 暮れに餅つきがありました。「ペッタン、ペッタンという音で昔家に居て餅つきをしたことを思い出しました。喉に詰まると困るという事で、お汁粉の中にお餅の代わりのゼリーが入っていました。とても美味しかった」という声が聞かれました。

【その他】

- 隣の幼稚園の子供たちが遊ぶ様子を見て「元気がもらえる」と優しい顔で見ている利用者の方がいました。
- 窓のところに凧が飾ってありました。女性利用者の方は「凧は男の子の遊びだから、女の子は羽根つきをしたよ」とお正月の事をいろいろ教えてくださいました。
- Sさんが「先週から隣のフロアのメニューも頼まれて3時のおやつの後には書いています。私の生きがい」と話されていました。
- お風呂に入りましたと柚子湯がとても気持ち良かったと入所者さんが教えてくださいました。
「香りが良くて温まったよ」「大勢の人が入るのですぐに香りが消えてしまったが、入浴剤を入れてもらいすぐに気持ち良くなった」と教えてくださいました。

